



みなとだより

和歌山市立湊小学校
令和7年10月号

「一番の山」は？



教育目標
人間性豊かで
たくましい子

秋の訪れ、運動会の季節がやってきました。秋は、何か一生懸命取り組んだりチャレンジしたりするのはちょうどよい季節だと思います。スポーツの秋ともいわれますが、私は、身体を動かすことが大好きで、今までいろいろなスポーツに親しんできました。その中でも秋になると思い出す私の「一番の山」への登山の思い出があります。

秋の遠足に、当時、担任する5年生の子供たちと「雲山峰（うんざんぼう）」に登ったことです。雲山峰は、和歌山県と大阪府の県境西部、「紀泉アルプス」と呼ばれる山域の最高峰の山です。標高は、約490mで、登って降りてくると、大人の足で約5時間、およそ10kmの登山になります。

江戸時代の地誌「紀伊続風土記」に『絶景』と記されているとおり、どの方向にも展望が開けて、大阪湾をはじめ、周囲を広く一望できます。山頂には八大竜王の祠が祀られています。六十谷駅の方角から、千手川沿いに北上して、子供たちと山頂を目指しました。山中の落ち葉を踏み分けながら進むこともあり、途中で、沢を歩く小さな亀やカニにも出会いました。片道約3時間を歩き通して、やっと頂上に着きました。険しく長い道のりに子供たちはお互いを励まし合いながら、やっとの思いで山頂に到着しました。子供たちと頂上から見た景色、その時の子供たちの晴れやかで満足気な表情は、今も忘れられません。

ところで、世界で一番標高が高い山をご存じでしょうか。

8,848mの「エベレスト（チョモランマ）」という山です。もちろん、私は登ったことがありませんが、叶うならその頂上には立ってみたいとは思っています。

そして、日本で一番高い山は、3,776mの「富士山」です。日本には、その他にもたくさんの山があります。599mの「高尾山」は有名で、外国のガイドブックでも紹介されるほどです。一年中多くの登山者が訪れるそうです。

さて、数多くある山々の中で、どの山が『一番』なのでしょう。

高さで言えば、富士山が日本で一番です。でも、山の「よさ」や魅力は、高さだけではないのです。ふもとから見える姿が美しい山、頂上からの景色が素敵なお山、頂上を目指すルートが充実している山、安心して登山できる山、いろいろな植物や生き物に出会える山、仲間と励まし合いながら登った山……。きっと、登山者の一人一人がそれぞれの価値観、自分が「いいな」「大事にしたいな」と思うことを通して、「自分なりの一番の山」を思い浮かべることでしょう。

山にそれぞれに魅力があるように登り方も人それぞれです。いろいろな楽しみ方があっていいと思います。自分の価値観に気づき、大切に育てていくことは素敵なおことです。同じように、他の人の様々な価値観に触れ、受け止めていくことも、自分の世界を広げ、豊かにするためには大切なことだと考えます。

運動会の「よさ」や魅力も同じではないでしょうか。子供たち一人ひとりの価値観が大切にされ、お互いを認め合い、一生懸命に取り組んでいくことを通して、『自分なりの一番』を見つけてほしいと思います。